

## PRESS RELEASE

2014年3月19日  
株式会社三菱総合研究所

## 日銀短観（2014年3月調査）予測

株式会社三菱総合研究所（代表取締役社長 大森京太 東京都千代田区永田町二丁目10番3号）では、4月1日（火）に日本銀行より発表される予定の「企業短期経済観測調査（日銀短観）2014年3月調査」の業況判断DIについて予測を行った。

大企業・全産業の業況判断DI	————	+ 22%ポイント（12月調査比 +4%ポイント）
同・製造業の業況判断DI	————	+ 18%ポイント（12月調査比 +2%ポイント）
同・非製造業の業況判断DI	————	+ 26%ポイント（12月調査比 +6%ポイント）

業況判断DI（大企業・全産業）は、総じて堅調な内需を背景に業況改善の流れは変わらず、+22%ポイントと5期連続の改善を予想する。

製造業の業況判断DI（大企業）は、+18%ポイント（前回調査から+2%ポイント改善）と予想する。新興国向けを中心に海外需要の回復ペースは鈍いものの、既往の円安により収益が改善しているほか、自動車などの駆け込み需要対応の増産が川上の素材産業へも波及しており、幅広い業種で業況改善が見込まれる。

非製造業の業況判断DI（大企業）は、+26%ポイント（前回調査から+6%ポイント改善）と予想する。建設業では資材・労務費の上昇が業況の下押し要因となるものの、4月の消費増税を控え、小売業やサービス業など幅広い業種で駆け込み需要が表面化しており、業況改善を見込む。

先行きの業況判断DI（大企業）は、新興国経済の不透明感が依然として強いほか、消費増税後の一定の反動は避けられないことから、製造業は+14%ポイント、非製造業は+18%ポイントといずれも悪化を予想する。

## 日銀短観（2014年3月調査）業況判断DI 予測結果

「良い」-「悪い」 単位：%ポイント		実績				予測	
		2013年 3月	2013年 6月	2013年 9月	2013年 12月	2014年 3月	2014年 6月
		3月調査 「最近」	6月調査 「最近」	9月調査 「最近」	12月調査 「最近」	3月調査 「最近」	3月調査 「先行き」
大企業	全産業	▲1	8	13	18	22	16
	製造業	▲8	4	12	16	18	14
	非製造業	6	12	14	20	26	18
中堅企業	全産業	▲3	2	5	9	12	4
	製造業	▲14	▲4	0	6	7	1
	非製造業	4	7	8	11	15	6
中小企業	全産業	▲12	▲8	▲4	3	4	▲5
	製造業	▲19	▲14	▲9	1	1	▲6
	非製造業	▲8	▲4	▲1	4	5	▲5

注1：シャドー部分が2014年3月調査の予測値。

注2：「先行き」は、調査時点から3か月後を表す。

資料：実績は日本銀行「企業短期経済観測調査」、予測は三菱総合研究所。

《本件に関するお問合せ先》

株式会社 三菱総合研究所 〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号  
 政策・経済研究センター 森重彰浩 電話：03-6705-6087 FAX：03-5157-2161 E-mail：morisige@mri.co.jp  
 広報部 峰尾 電話：03-6705-6000 FAX：03-5157-2169 E-mail：media@mri.co.jp  
 尚、本資料は、内閣府記者クラブ、金融記者クラブに配布致します。